

このチャンスに子宮頸がんワクチンを打ちましょう

子宮の先で膣に突き出た所を頸(つまり首という意味)と呼びます。ここに出来る癌が子宮頸癌で、胃や肝臓などに出来る癌とは全く性格が異なり、次のような特徴があります。

漢方内科
隠岐醫院
658-0053
神戸市東灘区住吉宮町3丁目10-6
TEL 078-811-4109

- 主に性交渉でうつる。つまり、一種の感染症である。
- 病原ウイルスが明確にわかっている。(HPV16 型や HPV18 型)
- 女性の子宮のみに出来る。(不思議な事にチンチンの先にこの癌は出来ない)
- 唯一の予防できる癌である。そしてそのワクチンが開発された。

この癌をひきおこすウイルスは別に特殊なものでもなく、一般的に誰にでもくっついているウイルスらしく、20~30代の女性は80~90%に感染した事がある証拠の抗体が検出されています。だから、一部のアンラッキーな女性のみ感染するというものではなく、誰でも感染の機会があると考えた方が良いでしょう。ただ、感染しても自然治癒する場合も多く、癌化するのはいずれかです。癌化するかどうかは誰にもわかりません。

日本では年間 15,000 人の女性(20~30代が多い)がこの癌になり、うち 3,500 人が死亡しています。死亡しなくても、女性にとって大切な子宮を全摘する手術を受けなければならない事もあります。

私の知人にも子宮頸癌になって離婚してしまった方や子宮の手術を受けた方があり、決して他人事ではありません。

この様に、妊娠適齢期になって癌がわかり、子供が生めなくなるのは、悲惨であり、今までは検診するしか手がなかったのですから、有効率 80%の予防ワクチンが出来た事は朗報であり、医学の進歩であります。神戸市では平成 24 年 3 月まで助成制度があり、無料ですから女子中学生と高校 1 年生の女子は全員ワクチン接種を受けましょう。

アメリカやイギリス、オーストラリアでは 8 割以上の接種率であり、先進国ではポリオやハシカのワクチンの様に打つのが当たり前になっています。

また、一旦打っておけば 20 年も効力が持続するので発症の多い 20 代 30 代までカバー出来るので安心です。

心ない風説が流れていて、「子宮頸がんワクチンを接種すると不妊症になったり、流産しやすくなる」など、バカな事を言っています。こんな事実やデータ、報告はありません。全くのデタラメです。この様な風説が出てきた背景に次の様な不安があったのではないかと私は考えています。「ポリオのワクチン接種でポリオになっちゃった人がいる。だから頸癌ワクチンで頸癌になるかもわからん。頸癌になったら子宮の手術するから不妊になる可能性がある。だから頸癌ワクチン→不妊」。しかし、事実は全くの逆です。

それからもう一つの説は、「頸癌ワクチンのアジュバント(薬剤の作用を増強する為の添加剤)は犬の不妊化ワクチンにも入っている。だから頸癌ワクチンは不妊をおこす」これもアホな説で、アジュバントには色々な薬剤があり、不妊化をおこす様なアジュバントは頸癌ワクチンには使われていません。まして、犬用のアジュバントは使われていません。(ASO4 という一般ワクチンと同じアジュバントが入っている)これで言うならどの赤ちゃんにも打つ三種混合ワクチンでも不妊になるという図式になりますが、そんな事はありませんよね。

どうぞ安心してこの機会に該当する女子は全員打ちましょう。

隠岐は元鍼灸師ですから、注射上手で痛くありません。



ご希望の方は ⇒ ①予約のお電話を入れて下さい。 ②当日熱が無い事を確認して母子手帳を持ってご来院下さい。